

環境と人にやさしい百貨店を目指す取り組み

J.フロント リテイリングは、21世紀が目指す「持続可能な社会」の形成に向けて、お客様、お取引先の皆様とともに地球環境の保全に取り組んでいます。主力の百貨店事業を営む大丸松坂屋百貨店はISO14001に基づく環境マネジメントシステムを運用し、環境負荷の継続的な削減に努めています。

JFRグループ環境方針

私たちJ.フロント リテイリンググループは、かけがえのない地球環境を次世代へ残していくための自らの役割と責任を認識し、お客様・お取引先様・地域の皆様とともに“持続可能な社会の実現”に向けた「環境にやさしい企業経営」を積極的に推進します。

1. 環境に及ぼす影響とその原因を認識し、グループ各社の事業活動を通じて環境保全活動を推進する体制・仕組みを構築し、環境負荷の低減に積極的に取り組みます。

- 1 資源・エネルギーの有効活用
- 2 CO2排出量の削減
- 3 廃棄物の削減と再資源化
- 4 環境にやさしい商品・サービス・情報の提供
- 5 お客様、お取引先様や地域の皆様と取り組む環境保全活動の推進

2. 環境に関する法令、条例及び協定などの要求事項を順守します。

3. 教育・啓発活動を通じて環境保全に対する意識の向上を図り、グループ内で働く一人ひとりが環境課題に自ら取り組む基盤を強化します。

4. この環境方針は、グループ各社で働くすべての人に周知徹底するとともに、社外にも公開します。

■エネルギー使用量の削減

CO₂を削減し、地球温暖化を防止するため、照明や空調温度をこまめに管理するとともに、日本百貨店協会が進める「夏場の店内冷房温度の緩和」「ライトダウンキャンペーン」などのさまざまな活動へも参画し、従業員全員で省エネに取り組んでいます。

また、設備の更新や改装時・新規出店時には省エネ効率の高い機器を順次導入しています。

■廃棄物の削減と再資源化

最終廃棄物を削減し、再資源化を推進するために、ゴミの分別を徹底しています。

食品廃棄物は、店内に設置した「生ゴミ処理機」で肥料として再生するほか、各店の排出状況にあわせて、魚のあらや食廃油なども外部に委託し、肥料・飼料・バイオ燃料・石炭などに再資源化しています。

■包装資材使用量の削減

誰もが無駄なく適切な包装ができるように、全社包装基準を策定し、スマートラッピングマニュアルに基づく研修を行っています。店頭ではお客様のご協力のもと、簡易包装やお荷物をひとつにおまとめする「ワンバッグ運動」を推進しています。また、デザイン性と付加価値にこだわった「エコバッグ」の開発・販売に取り組み、百貨店らしいお買い物スタイルの提案に努めています。



オリジナルエコバッグ

省資源化の促進とマイバッグの利用によるゴミの削減のため、「カーボンオフセット付き」オリジナルエコバッグを大丸・松坂屋全22店舗で販売しています。バッグ1枚につき50円のカーボンオフセットを付加し、1枚当たり約14kgのCO₂削減を見込んでいます。

■税込み価格 各500円／黒とベージュの2色／ペットボトル再生ポリエステル100%

■環境にやさしいライフスタイルの提案

百貨店における環境活動の重点項目として、生活の中にスマートに「エコ」を取り入れるための提案に努めています。独自の選定基準に基づく「環境にやさしい商品・サービス」の取り扱いや法人外商における「環境に配慮した商品」の提案・受注、環境イベントの開催などに積極的に取り組んでいます。

不要になった衣料や靴などを回収する「引き取りキャンペーン」も開催しています。大丸東京店や松坂屋名古屋店などでは、回収物を処理工場にて燃料にリサイクルしており、地球温暖化防止への貢献にも取り組んでいます。

■お客様にやさしく快適な店舗づくり

大丸・松坂屋各店では、地震・火災発生時に備えて、店舗勤務者全員参画の防災訓練を定期的実施するとともに、地震発生時にリアルタイムで館内放送を行う緊急地震速報のシステム(*)を導入しています。

また、AED(自動体外式除細動器)を全店に設置するとともに、緊急時に初期対応ができるように普通救命講習修了者を全店で約1,400名養成しています。(テナントとして入居している一部の店舗では、ビルオーナー会社との共用を含む)

*大丸松坂屋百貨店の直営店全店と博多大丸天神店に導入済み(テナントとして入居している一部の店舗を除く)

地域・社会への取り組み

■地域の活性化

大丸・松坂屋は、地域に密着した百貨店として、地域の皆様や行政との協力のもと、人々が集まる、楽しく美しい街づくりに積極的に参加するとともに、お客様や地域の皆さまにも参画していただける環境への取り組みを行っています。

主な地域イベントへの参加

大丸

札幌店「札幌雪まつり」「YOSAKOIソーラン祭り」
神戸店「神戸ミナリエ」「モトマチ イースト
ジャズピクニック」
博多大丸天神店「博多祇園山笠」
下関大丸「しものせき海峡まつり」



札幌雪まつり

松坂屋

名古屋店「名古屋まつり」「栄ミナミ音楽祭」
「池田公園夏祭り」
「ど真ん中祭り」
上野店「五條天神社例大祭」
静岡店「ラブリータウン静岡」(季節ごとのイベント参加)
高槻店「高槻ジャズストリート」



名古屋まつり

●屋上の緑化

大丸京都店、神戸店では屋上に天然芝を敷いた広場を設置しています。ヒートアイランドを緩和するとともに、都心のオアシスとして訪れる方々の憩いの場となっています。

松坂屋名古屋店においても、松坂屋創立100周年事業として、9月完成予定で約800㎡のスペースを使用し屋上の緑化を行います。園芸スクールやイベントの開催など、花と緑に関するさまざまな情報も発信します。

また、大丸神戸店では菜園も設けており、本年度は公募した20名のお子様へ、大根や苺を収穫していただき、その後収穫した苺などを使ってフルーツタルトをみんなで作りました。「自分たちで植え、収穫して食べる」ことの体験を通じて、子供たちに作物を育てることの楽しさ、食べることの意義を知ってもらえる機会となることを願っています。



松坂屋名古屋店 屋上緑化施設 (イメージ)



大丸神戸店 屋上菜園

●清掃活動・クリーンキャンペーン

地域団体の皆さまとともに、放置自転車の追放、らくがき消し隊への参加などを行うとともに、店舗周辺の清掃活動を定期的にも実施しています。

●環境学習・販売体験

大丸・松坂屋各店では、春の連休や夏休みなどに地元の小・中学校の生徒を受け入れ、店舗での環境への取り組みの紹介や百貨店でのお仕事体験などを通じ、総合学習のお手伝いをしています。

今年の春は、たくさんの応募者の中から選ばれたお子様たちが、松坂屋名古屋店、上野店などで、エレベーター・ご案内所・店内放送などご案内係のお仕事を体験していただきました。



小学生のお仕事体験 (松坂屋名古屋店)

■社会貢献活動

大丸・松坂屋は、百貨店の集客力・情報発信力を活かし、広く地域社会に貢献する取り組みを続けています。

各店では、地球環境保全や深刻な飢餓・貧困に苦しむ地域への支援、安全・健康な生活を営むための啓発などを目的に、チャリティバザールや募金活動、イベントへの参加などを行っています。

●災害時の募金活動

大きな災害の発生時には、店頭及び社内で募金活動を行い、日本赤十字社に義援金として寄付し被災地に救援物資をお届けしています。

●「ペットボトルキャップを集めて、世界の子どもたちにワクチンを届けよう!」の活動

大丸・松坂屋各店では、店頭及び従業員施設に回収BOXを設置し、ペットボトルのキャップを回収しています。

回収したキャップは、NPO法人「Reライフスタイル」を通じてリサイクル業者に引き取られ、その対価を認定NPO法人「世界の子どもにワクチンを日本委員会 (JCV)」に全額寄付し、世界の子どもたちにワクチンが届けられます。

2009年11月より全店で取り組みをスタートし、お客様から多くのご協力もいただきながら、2010年5月現在までの累計で約370万個を回収しています。



さくらパンダ回収BOX (大丸心齋橋店)